再びヘリウム原子のエネルギーを考えてみよう. 今度は、変分法ではなく、1次の摂動を用いる.

例題 0.1: ヘリウム原子の基底エネルギー (1 次摂動)

水素陽原子のハミルトニアンを \hat{H}_0 とし、電子-電子相互作用を水素陽原子に対する摂動 \hat{V} と解釈してヘリウム原子の基底エネルギーを計算せよ.ただし、

$$\hat{H} \coloneqq \hat{H}^{(0)} + \hat{V} \tag{0.0.1}$$

$$\hat{H}^{(0)} := -\frac{\hbar^2}{2m} \nabla_1^2 - \frac{\hbar^2}{2m} \nabla_2^2 - \frac{2e^2}{4\pi\varepsilon_0 r_1} - \frac{2e^2}{4\pi\varepsilon_0 r_2}$$
(0.0.2)

$$\hat{V} := \frac{e^2}{4\pi\varepsilon_0 r_{12}} \tag{0.0.3}$$

(0.0.4)

である.

 $\hat{H}^{(0)}$ の基底状態の固有関数は、

$$\psi^{(0)} = \frac{Z^3}{\pi a_0^3} \exp\left[-\frac{Z(r_1 + r_2)}{a_0}\right] \tag{0.0.5}$$

である. よって、 \hat{V} による 1 次のエネルギー補正は以下のように計算できる.

$$E^{(1)} = \left\langle \psi^{(0)} \middle| \hat{V} \middle| \psi^{(0)} \right\rangle \tag{0.0.6}$$

$$= \int \psi^{(0)*} \frac{e^2}{4\pi\varepsilon_0 r_{12}} \psi^{(0)} \, \mathrm{d}\mathbf{r}_1 \, \mathrm{d}\mathbf{r}_2 \tag{0.0.7}$$

$$= \frac{5}{4}Z \text{ Ry} \tag{0.0.8}$$

よって, 基底エネルギー

$$E_0 = E^{(0)} + E^{(1)} (0.0.9)$$

$$= -8 \text{ Ry} + \frac{5}{4} \times 2 \text{ Ry} \tag{0.0.10}$$

$$= -74.8 \text{ eV}$$
 (0.0.11)

を得る a .

 a 測定値は $-78.6~{\rm eV}$

